

授業科目名	公衆衛生看護支援技術演習		担当教員	◎川上 裕子、鶴岡章子、 佐々木亜希子	科目ナンバリング NP303
選択	開講年次：3年前期	単位：1単位	授業形態：演習30時間		

【授業概要】

個人・家族や集団・組織を対象とした公衆衛生看護活動の基本的技術である家庭訪問と健康教育について、事例を用いて体験的に学修する。特に、対象者が主体的に健康問題を把握し、自らの生活の場で予防的な対処方法や問題解決の方法を選択できるように働きかける接近技法や技術の基礎を修得する。

【達成目標】

1. 公衆衛生看護活動の一手段としての家庭訪問と健康教育の目的、対象、展開方法を理解する。
2. 家庭訪問の方法および一連の過程を理解し、実践できる。
3. 集団を対象とした健康教育の計画を立案し、実践できる。

【履修条件】

「公衆衛生看護支援技術Ⅰ(個人・家族)」、「公衆衛生看護支援技術Ⅱ(集団・組織)」を履修していること。

【授業計画】

[01] 個別および集団を対象とした保健指導の方法と支援者の役割	(川上)
[02] 家庭訪問① 家庭訪問の目的・対象者の特性、家庭訪問の事前調整	(川上・鶴岡・佐々木)
[03] 家庭訪問② 支援方法と支援技術	(川上・鶴岡・佐々木)
[04] 家庭訪問③ 家庭訪問のプロセス	(川上・鶴岡・佐々木)
[05] 家庭訪問④ 訪問計画の立案：対象者の把握と事前の情報整理	(川上・鶴岡・佐々木)
[06] 家庭訪問⑤ 訪問計画の立案：支援目標・支援内容の立案	(川上・鶴岡・佐々木)
[07] 家庭訪問⑥ 家庭訪問の実際(ロールプレイ：グループ別に実施と観察)	(川上・鶴岡・佐々木)
[08] 家庭訪問⑦ 家庭訪問の実際(ロールプレイ：グループ別に実施と評価)	(鶴岡・佐々木・川上)
[09] 健康教育① 健康教育と健康学習、保健行動と行動変容	(川上・鶴岡・佐々木)
[10] 健康教育② 実態把握、企画書・指導案の作成	(川上・鶴岡・佐々木)
[11] 健康教育③ 企画書・指導案の作成	(川上・鶴岡・佐々木)
[12] 健康教育④ 企画書・指導案の修正、媒体等の作成	(川上・鶴岡・佐々木)
[13] 健康教育⑤ 実施準備(デモンストレーション、媒体等の完成)	(川上・鶴岡・佐々木)
[14] 健康教育⑥ 健康教育の実施(グループ発表)	(川上・鶴岡・佐々木)
[15] 健康教育⑦ 健康教育の実施・評価(グループ発表)	(川上・鶴岡・佐々木)

【教科書】

荒賀直子・後閑容子他(2022)：公衆衛生看護学.jp(第5版データ更新版)，インターメディカル。
厚生労働統計協会(2022)：国民衛生の動向 2022/2023，厚生労働統計協会。

【参考書】

中村裕美子他(2020)：標準保健師講座2 公衆衛生看護技術(第4版)，医学書院。
井伊久美子・勝又浜子他(2021)：新版保健師業務要覧(第4版)2022年版，日本看護協会出版会。

【評価方法・評価基準】

グループ討議および発表：70%、課題レポート：30%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：公衆衛生看護学に関する科目を復習して授業に臨む。演習計画にそって予め資料・媒体等の準備を行っておく。(1時間)

事後学習：各回の演習内容を復習し、グループで計画的に進められるよう情報共有に心がける。(1時間)

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅳ．ヘルスプロモーションと予防の実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

グループワークおよびグループ発表の評価は、授業の中で行う。

課題レポートは評価しフィードバックする。

【備考】

本科目は、「公衆衛生看護支援技術Ⅰ(個人・家族)」、「公衆衛生看護支援技術Ⅱ(集団・組織)」における学びと連動させ、具体的な公衆衛生看護支援技術を修得する科目である。

(保選)保健師国家試験受験資格取得のための選択必修科目

保健師教育課程の履修許可を得た学生のみ履修可能